

アジア国際共同試験
課題公募のお知らせ（一般機関用）

2022/11/21

1 はじめに

国立がん研究センター中央病院（以下、NCCH）国際開発部門では、アジアがん臨床試験ネットワーク事業（ATLAS プロジェクト）と連動し、アジアでの国際共同試験の実施を促進しています。そのため、国内アカデミア施設から国際共同試験の提案を広く募集し、NCCH 国際開発部門のノウハウを活かした支援を提供することにより、効率的に国際共同試験が実現できるような取り組みを行っていきます。

2022 年前期に実施した課題公募に引き続き、2022 年度後期も国際共同試験の課題公募を行います。有望な提案には ATLAS プロジェクトの一環として、NCCH 臨床研究支援部門・国際開発部門が直接研究支援を行います。

これまでの公募で 5 件の国際共同研究が採択され、現在実施中もしくは準備中です。

国際共同試験の研究代表者/研究事務局を務めることは、アジア全体の社会課題の解決に貢献するのみならず、海外研究者とのネットワーク構築や、研究者の研究力/語学力の向上にも役立ちます。今後もこの課題公募は半年に一回実施されます。新たなチャレンジに取り組んでみたい研究者からの、魅力的なアイデアをお待ちしています。

2 国際共同試験の候補課題

2.1 申請資格者

国内アカデミア施設に所属する医師（非常勤の医師の場合、常勤医師と連名で申請すること）

2.2 申請の種類

- アジア共通の課題解決に向けた国際共同試験を募集します。
- 応募課題は A/B/C のいずれかに判定され、A 判定とされた課題には国際開発部門が企業交渉、薬事相談、研究実施等について伴走型の支援を行います。
- スタートアップに必要な研究費（令和 4 年度のみ。総額 200 万円以下）を必要に応じて支援します。

2.3 募集期間

2022 年 11 月 21 日（月）～12 月 23 日（金）正午

2.4 国立がん研究センター中央病院 国際開発部門/臨床研究支援部門のサポート内容

- 提案課題のブラッシュアップ
- 製薬企業への提案および交渉の支援
- 国際研究支援業務（施設間調整、プロジェクトマネジメント、データマネジメント、モニタリング、薬剤管理、安全性管理、予算管理等）
- スタートアップに必要な研究費（令和4年度のみ1課題総額200万円以下）を支援

2.5 提出書類

以下の文書をE-mailにてNCCH国際開発部門研究企画室へ送付してください。

- 申請書（ホームページよりダウンロード）→[研究企画室 | 国立がん研究センター中央病院 \(ncc.go.jp\)](#)
- 申請書の概要を説明するプレゼンテーションスライド（容量の上限100MB）

送付先：ncch_dicd_irds@ml.res.ncc.go.jp

2.6 選定方法・手順

- 課題検討会でのプレゼンテーションと質疑を経て、採択課題を決定します。
- 非採択課題についても国際臨床研究コンサルテーションを利用することは可能です。
[（国立がん研センター中央病院 HP：国際臨床研究コンサルテーションへ）](#)

2.7 申請者の責務

- 原則として申請者が課題検討会でのプレゼンテーションと質疑応答を行って下さい。
- 採択された場合には、原則として申請者が国際共同試験の研究代表者となり、企業交渉、研究費獲得（公的資金もしくは企業資金）、研究計画書作成、附随研究立案（研究所と連携）、PMDA戦略相談、臨床試験審査委員会等の院内手続き、試験の実施等を担当してください。

2.8 審査方法と結果の通知

以下の評価規準に基づく評価点に加え、総合的な観点で採択を決定します。

評価項目	点数
① 社会的ニーズ/Unmet medical needs はあるか？	☐ Excellent 3 点 ☐ Good 2 点 ☐ Fair 1 点 ☐ Poor 0 点
② 出口戦略（開発ロードマップ）が明確か？	☐ Good 2 点 ☐ Fair 1 点

	☐ Poor 0 点
③ 科学的妥当性はあるか？（試験実施の科学的合理性、対照群や試験デザインが適切に記載されているか？）	☐ Good 2 点 ☐ Fair 1 点 ☐ Poor 0 点
④ アカデミア発またはベンチャー企業発か？	☐ アカデミア・ベンチャー企業 1 点 ☐ その他 0 点
⑤ 実施可能性はあるか？（予定登録期間内に患者登録は可能か？診療科として、国際共同試験を実施する体制は整っているか？）	☐ Good 2 点 ☐ Fair 1 点 ☐ Poor 0 点
合計（10 点満点）	点

※ 薬事承認を目指した医師主導治験や、研究費の目途が立っている課題が優先されますが、それ以外の課題も歓迎します。

※ 非臨床試験は対象外です。アカデミアシーズではシーズ C が対象となります。

※ 共同試験の相手国はアジアが優先されますが、それ以外でも応募は可能です。

※ がん領域が優先されますが、それ以外の領域の応募も可能です。

2.9 審査後の流れ

- 優先順位が高いと判断された課題は、国際開発部門や臨床研究支援部門スタッフも同席しながら治験薬提供等について製薬企業との交渉を進めます。研究費については公的資金もしくは企業資金獲得に向けて準備を進めます。
- 治験薬提供・研究費提供が得られた場合は、課題の申請者は、研究代表者として治験の準備・実施について、院内の手順に沿って準備を進めていただきます。

3 国際開発部門スタッフ募集

- 国際開発部門、臨床研究支援部門では、実務を通じて国際共同試験の企画や実施に携わってみたいという若手研究者や臨床研究支援職（資格問わず）を募集しています。見学等も可能ですので、興味のある方は随時ご相談ください。

国際開発部門長 中村健一

研究企画室長 大熊ひとみ

お問い合わせ先：ncch_dicd_irds@ml.res.ncc.go.jp